

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	補装具費支給事業			
予算科目	3 款 1 項 14 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	538
記入者情報	所属長:	渡辺 悦子	担当責任者:	大森 秀泰
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	身体障害者手帳の交付を受けた者で、装具の支給を受けることにより、身体機能を獲得し又は補うことが可能な者。			
根拠法令等	障害者総合支援法			
事業の目的	障害者及び障害児に対し、車いす、座位保持装置等の補装具の購入に要した費用について補装具費を支給することにより、障害者等の職業その他日常生活の能率の向上を図ることを目的とする。			
事業の内容	申請があった場合、当該障害者等が補装具の購入又は修理を必要とする者であるときは、当該補装具の購入又は、修理に要した費用について、その100分の90に相当する額を補装具費として支給する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	自宅と学校で車椅子を2台使用したいとの申請について、申請者の立場に立って、認めることとした。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	4,921	6,026	569	4,158
	人件費	1,871	1,829	874	1,829
	合計	0	7,855	1,443	5,987
人件費 内訳	人工数	0.23	0.23	0.11	0.23
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,871	1,829	874	1,829
財源内訳	国庫支出金	2,250	3,000	1,500	2,500
	県支出金	1,224	1,500	0	1,033
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,318	3,355	-57	2,454

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
支給延べ件数	件	52	60	15	46

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	5,932	6,000	6,000	6,000	6,000	29,932

成果指標				
成果指標	支給実件数			
指標設定の考え方	支給件数の増加が、障害者の生活向上につながるため。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標28年度
目標	60	60	60	60
実績	52	46	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>舗装具は日常生活を支えるために必要であるので、書類の不備、業者の事務遅滞などについて、積極的に改善を促し、事務工程をきちんと管理することで、より迅速に支援ができるように努める必要がある。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>補装費は身体に障害のある者や児童が、日常生活を送るために必要な用具で、体の一部となるものである。そのような事情を勘案しながら申請を受理し、判定等の必要な事務処理を行った後、事業所発注から納品までの過程を把握し、迅速な事務処理を心がけ、申請者の不利益とならないようにすることが重要である。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題